

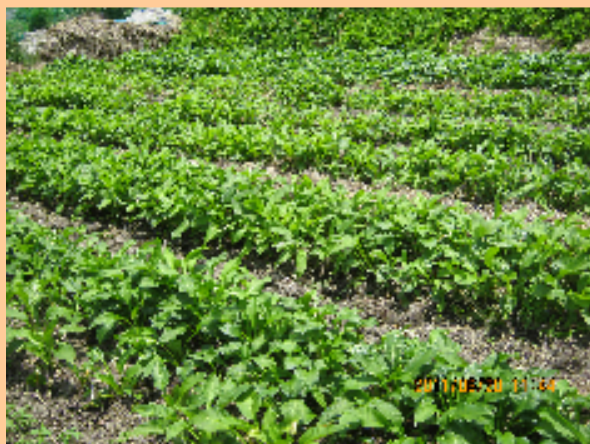
# 《 内山地区活性化推進事業 》

## 葉丸根生産者組合

(代表者) 葉丸根生産者組合 上原 勲さん

うるい(コーレン葉)については、無農薬での産地化を目指し、まずは5人で5,000株の定植を実施しました。有機肥料を施し、生育は順調です。

今後は、冬期出荷に備え、秋にはビニールハウスを整備していく予定としています。



うるい(コーレン葉)は順調に生育しています。おひたしにしてもおいしく、ほど良いヌメリとシャキシャキ感が楽しい食材です。



村の若い衆(?)による株分け定植。産地化に向けて作業は大変ですが頑張っています。～農業最高!～

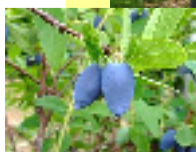
ハスカップについては、苗木200本を購入しました。ピートモスを根元に投入し定植後、木くずマルチを実施しました。

しかし、定植時期が6月と遅かったために、生育不順が非常に心配な状況です。

これまで、当組合、市農政課のほか、佐久農業改良普及センター、JA東部営農センターの4者で現地確認を繰り返しながら今後の対応を検討しているところです。

ミニ知識:ハスカップ(スイカズラ科スイカズラ属)

果実をはじめは黄緑色だが熟すと青紫色になる。味はブルーベリーに似ている。生のままの保存が極めて難しく、ジャム、果実酒やお菓子などの加工用として北海道内で栽培されるが流通は少ない。



熟すと、こんな実が採れます



ハスカップは生育が心配。関係者による協議が続きます。